

ヤブジラミ (藪虱)

なまえ いみ
名前の意味：やぶに生えるシラミのような実をつける植物の意味

ぶんるい
分類：双子葉類、セリ科、ヤブジラミ属

(セリ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：セリ、ニンジン、パセリ、セロリ)

す ばしょ へり
好きな場所：林の縁

ぶんぶ
分布：北海道、本州、四国、九州

げんさんち
原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

とくちょう とげ
特徴：刺だらけの実、白くて小さな花、細かく切れ込んだ葉こ

しゅし はこ
種子の運ばれかた：けものの毛皮に付いて運ばれる

かべん かず りべん
花弁の数：離弁、5枚

はな じき
花の時期：6—7月

た かた
食べ方：食べられるけれどもおいしくない

み わ かた
見分け方：オヤブジラミは葉の切れ込みが多く、1ヶ所につく花の

数が3から6個 とやや少ない。

み
見つけやすさ ★★★★★

み わ
見分けやすさ ★★★★★

そう ごう なんいど
総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)